

県名：	農協名：JA	拠点名：
-----	--------	------

# 自脱型コンバインの必要機能についてのアンケート

## 生産者の皆様へ

平素はJAグループの事業にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

JAグループは生産者1万人の声を反映させた仕様・機能を備えた大型(60PS)トラクターに引続き中型トラクター(33PS)を選定し、2~3割の価格低減をはかることができました。

次は、コンバイン(4条刈、50PSクラス)での共同購入を検討しています。そこで、生産者の皆様が、実際にコンバインを使って農作業をするうえで必要な機能についてお聞かせください。

### Q1. お客様の営農等についてご回答ください。(〇もしくは数値をご記入ください)

(1) ご年齢と営農形態：

ご年齢	才	生産者名	個人(家族経営)	法人・会社	営農集団・集落営農	その他( )
-----	---	------	----------	-------	-----------	--------

(2) 作付面積等

	水稲	麦	その他( )
延べ耕作面積	ha	ha	ha

### Q2. 現在所有するコンバイン刈取条数と馬力を教えてください。

	1台目	2台目	3台目	4台目	5台目	6台目
刈取条数	条	条	条	条	条	条
エンジン出力	PS	PS	PS	PS	PS	PS

### Q3. 50PSクラスのコンバインの機能について「必要」・「不要」・「オプション設定でよい」をご回答ください。(回答欄のいずれかに〇をつけてください)

No.	装備・機能	回答	
1	車体水平制御	必要	不要
2	幅広クローラ	必要	不要
3	車速制御	必要	不要
4	エンジン回転制御	必要	不要
5	刈高さ制御	必要	不要
6	刈取オートクラッチ	必要	不要
7	掻き込みペダル・スイッチ	必要	不要
8	オーガ自動旋回	必要	不要
9	糞シャッタ	必要	不要

No.	装備・機能	回答		
10	大型後方ミラー	必要	不要	
11	大容量燃料タンク (無給油で連続8時間作業)	必要	不要	
12	無線オーガリモコン	必要	不要	オプション設定 でよい
13	作業灯 (こぎ口)	必要	不要	オプション設定 でよい
14	作業灯 (オーガ)	必要	不要	オプション設定 でよい
15	刈取防塵カバー (前・後)	必要	不要	オプション設定 でよい
16	情報通信技術による機体・作業管理	必要	不要	オプション設定 でよい

Q 4. 50PS クラスのコンバインで重視するものを最大3つ選んでください。

刈取速度	耐久性	メンテナンス性	操作性	居住性	パネルの視認性	脱穀精度※1	選別精度※2	オーガ排出時間

※1：枝梗（しこう）が少なく、モミが単粒の状態でグレンタンクに入る

※2：3番口や排ワラ口に出ってくる籾の量が少ない

Q 5. 次に 50PS クラスのコンバインを購入する場合は更新ですか？増車ですか？（どちらかに○）また、時期はいつ頃をご検討されていますか？

更新	増車	未定
----	----	----

時 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年以内</li> <li>・ 2年以内</li> <li>・ 3年以内</li> <li>・ その他</li> </ul>
-----	---

<その他、皆様の声をお聞かせください。>

以上、ご協力ありがとうございました。

このアンケートは、JAグループ農機事業で取り扱う商品のご提供やサービス向上のために利用します。

## 機能説明

装備・機能	説明
車体水平制御	・田面が左右に傾いても、機体を水平に保つ機能。湿田等で機体を上昇させて使用することも可能。
幅広クローラ	・通常よりも広いクローラを装着していることにより、クローラの接地圧が小さくなり、機体の沈み込みが少なくなることで、湿田での作業性が良い。
車速制御	・エンジンの負荷が大きくなったとき、自動的に車速を下げ、エンジン回転を定格に保つことでこぎ胴の回転を一定に保ち脱穀精度を落とさない機能。
エンジン回転制御	・作業負荷が大きくなっても、燃料噴射量を変えることでエンジン回転数を一定に保つことで安定した作業が行える機能。
刈高さ制御	・田面をセンサーで感知することで、刈取部の高さを制御する機能。田面へのデバイド突っ込みを防止できる。
刈取オートクラッチ	・刈取部を上昇させると刈取部が自動停止する機能。旋回時の刈取クラッチ操作が不要になる。
掻き込みペダル・スイッチ	・ペダルやスイッチ操作により刈取・搬送部を駆動することができ、四隅を刈るときなどの稈こぼれを防止する。
オーガ自動旋回	・設定した位置や収納位置まで、ボタン等の操作で自動旋回する機能。
籾シャッタ	・オーガ先端にシャッタを設置することで、排出後の籾こぼれを軽減する。
大型後方ミラー	・大型の後方ミラーを設置することで、後方の視認性が良い。
大容量燃料タンク	・給油することなく概ね1日作業ができる程度の容量を備えた燃料タンク。作業途中で給油が必要なく、給油回数を削減できる。
無線オーガリモコン	・機体から離れた場所から排出・オーガ旋回等の操作が可能のため、作業補助者も操作ができる。
作業灯(こぎ口)	・脱穀部入口付近に作業灯があることで、こぎ深さを容易に確認できる。
作業灯(オーガ)	・オーガ先端に作業灯があることで、排出作業の状況を容易に確認できる。
刈取防塵カバー(前・後)	・刈取から脱穀部までの搬送部を概ね覆うことができる通常より大きいカバーで、オペレータへの防塵効果が高い。
情報通信技術による機体・作業管理	・ICT技術を活用して、機械の稼働状況や故障を管理するシステム。